

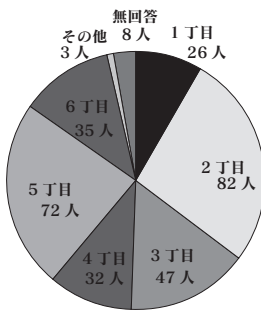
プレんティについてのアンケート結果概要

竹の台地域委員会

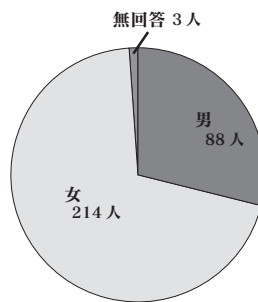
I アンケート概要

1、アンケートの目的	西神駅前商業施設であるプレんティの在り方について、住民意見を聴取するため
2、回収期間	平成 28 年 1 月 10 日～2 月 29 日
3、配布・回収方法	アンケート用紙全戸配布（3300 戸、平成 28 年 1 月 10 日）後、竹の台地域福祉センター及びたけのパークに設置した専用回収ボックスで回収
4、調査対象	竹の台全世帯（3300 戸）
5、回答数	305（全世帯の 9%）

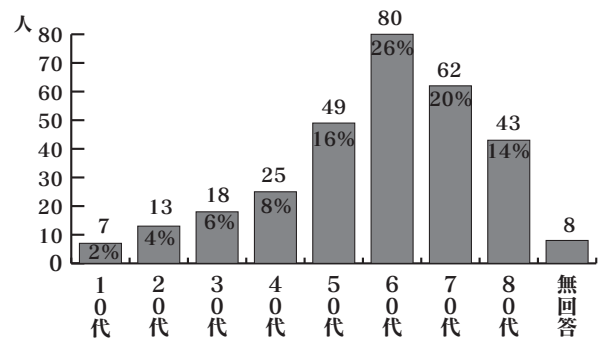
6、町別回答数



7、男女別



8、年齢別



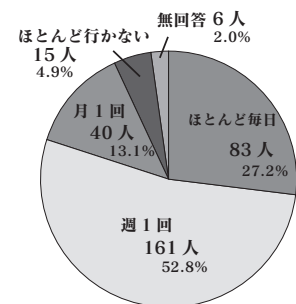
II アンケート結果概要

(1) 週に何回プレんティに行きますか？

- (1) ほとんど毎日
- (2) 週 1 回
- (3) 月 1 回
- (4) ほとんど行かない

週に何回プレんティに足を運ぶかという問いでは、「ほとんど毎日」が 27%、週 1 回月 1 回以下が 70.8%という結果だった。竹の台が駅前商業施設に比較的近いエリアにも関わらず、住民は週 1 回以下しかプレんティに足を運んでいない。

(1) 週に何回プレんティに行きますか？

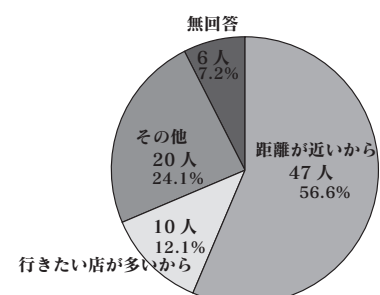


(2) (1) の設問で「ほとんど毎日」と答えた方にその理由をお聞きします。

- (1) 距離が近いから
 - (2) 行きたい店が多いから
 - (3) その他 ()
- その他の記述欄

19 件の記述のうちもっとも多かったのは、「他の施設に行くついで」「散歩のコース」というものが 9 件と半数を占めた。

(2) 「毎日行く」理由

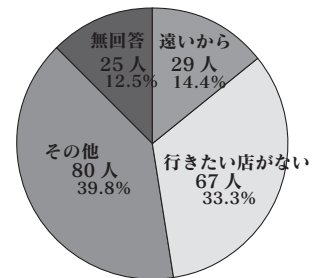


「ほとんど毎日行く」と答えている方も、その理由を問う設問（2）で、家から近いという理由で利用しているのであって、「行きたい店が多いから」つまり店舗に魅力があるからと答えている方はわずか12.1%だった。また、その他の理由では、「他の施設に行くついで」という方が最も多かった。

(3) (1) の設問で「週1回」「月1回」と答えた方にその理由をお聞きします。

- (1) 遠いから
- (2) 行きたい店がないから
- (3) その他 ()
- (3) その他の記述欄

53件の記述のうちもっとも多かったのは、「買いたいものがない」「用がない」26件、次いで「仕事がある」「忙しい」というものが10件、その他「車の入庫がめんどう」「習い事のついで」「足が悪い」などの回答があった。



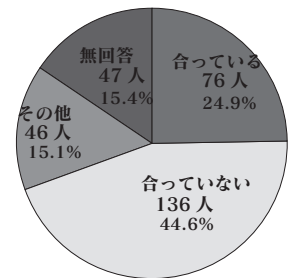
「週1回」「月1回」の理由を問う設問（3）では、「遠いから」と答えている方は14.4%と少なく、33.3%は「行きたい店がない」と答えている。その他の理由として多くの方が「仕事がある」「行く用事がない」「駐車場、駐輪場から遠い」を挙げている。

(4) プレんティの店舗構成はあなたのニーズに合ってますか。

- (1) 合っている
- (2) 合っていない
- (3) その他 ()
- (3) その他の記述欄

35件の記述があった。ニーズにあっているお店とそうでない店が混在しているという意味の回答が18件、「年齢的にあっていない」が4件あった。

(4) 店舗構成はあなたのニーズにあっているか？

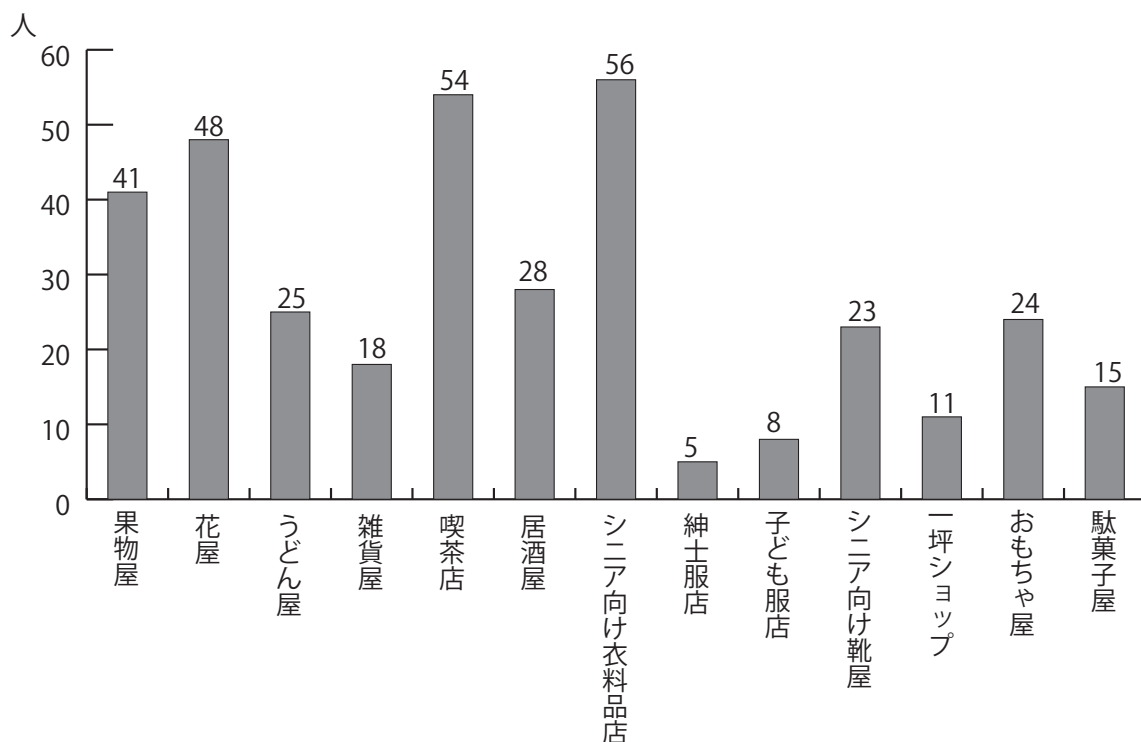


施設の魅力を直接問う設問（4）では、「ニーズに合っていない」という割合が44.6%あった。

設問（1）～（4）から、竹の台住民の多くは、施設そのものに魅力がないと考えていることがわかった。

(5) 今後どのようなお店が増えるといいと思いますか？具体的に教えてください。（複数回答可）

例 果物屋、花屋、うどん屋、雑貨屋、喫茶店、シニア向け衣料品店、紳士服店、子ども服店、シニア向け靴店、一坪ショップ、おもちゃ屋、駄菓子屋



希望する店名

・ユニクロ 42人 ・無印良品 12人 ・丸亀製麺 8人
その他スターバックス、王将、養老の滝、すき屋、赤ちゃん本舗、西松屋、トイザラス等

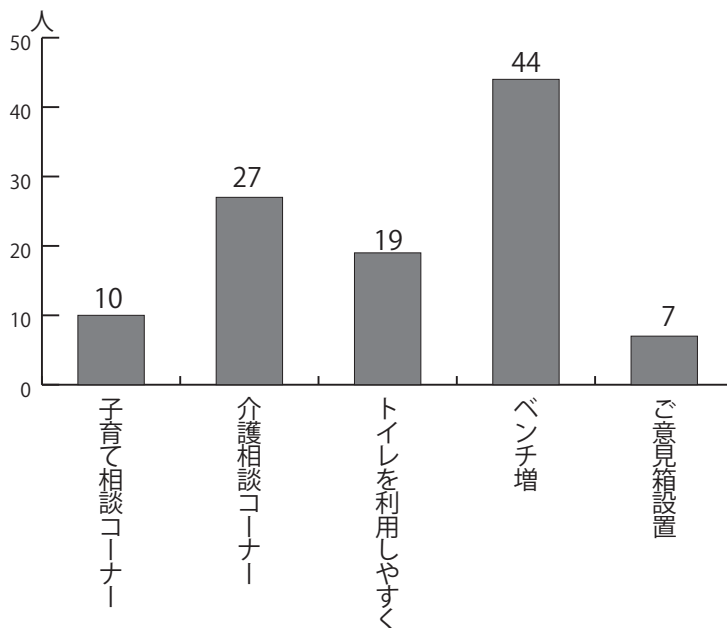
希望する業種

・回転寿し 22人 ・惣菜店 15人 ・弁当屋 6人 ・牛丼屋 8人 ・介護用品店 4人
・カラオケ 12人 ・和菓子屋 9人 ・イトインのお店（パン等）10人 ・映画館 4人
その他お好み焼き店、子ども用品店、ホームセンター、企業や自治体のアンテナショップ、リサイクル店、囲碁・将棋クラブ、ファミリーレストラン等

設問（5）で具体的にあって欲しい店を聞くと、シニア向け衣料品店、喫茶店、花屋、果物屋が多く、特に喫茶店は、「気軽に入店できる」「ゆっくりできる」店という希望が多く、シニア向け衣料品店の希望が多いことと併せると、住民の高齢化が原因していると思われる。また、花屋、果物屋の希望の多い理由の一つに、かつて住民に好評だった特定のお店に代わる店舗の出店がないためとも考えられる。その他、記述部分から、安価で気楽に行けるお店を望む声が多く、さらに、若い世代、高齢世代ともに、自分たちのニーズに合っていないと考えていることがわかった。

(6) 店舗以外にどのような施設や設備やコーナーがあればいいと思いますか？（いくつでも書いてください。）

例 子育て相談コーナー、介護相談コーナー、トイレを利用しやすく、ベンチを増やしてほしい、ご意見箱の設置と意見の公表等



設問（6）で希望するサービスを聞くと、ベンチを増やして欲しいという意見が圧倒的に多くあった。ベンチという手段に限らず、くつろげる空間、ゆっくりできる空間、集える場が欲しいという意見が多かった。単に買い物をする施設と考えるのではなく、そこに居て楽しいと思えるようなものを望んでいると考えられる。

若い世代からは、WiFiに接続できるようにしてほしい、キッズスペースを作って欲しい、トイレに授乳室を作って欲しいなど、子ども連れにやさしい施設を望む声が多数あった。

また、意見箱の設置に関して、住民の意見を取り入れ柔軟に店づくりをして欲しいという意見もあった。

全般の意見を問う（7）では、

- ・家賃が高すぎるのではないか、そのせいで空き店舗が増えているのではないか
 - ・次々と店が変わるのはなぜですか？愛用していた店が急になくなり困ってしまいます。
 - ・空き店舗が増えているのは、テナント料が高いのでは？経営には介入できないが、プレんティ側に問題提起は出来ないか検討して行って下さい。
 - ・急増する老人が気分よくすごせるスポットにプレんティをしないと、人が寄り付かなくなり売上も落ち込んでいくと閉店する店も増加し、やがてはゴーストタウンになるだろう。早く手を打たないと大変なことになるぞ。神戸市がんばれ！
 - ・オープン当初にあったような小さな小売店を入れて欲しい。
 - ・プレんティ、ダイエー、そごう単体で考えるのではなく、街づくりをどう考えるのかというのが本質である。
 - ・駐車場のサービスを考え直して欲しい。（無料にする、無料時間を拡大する、買い物の額に応じて時間延長する）
- など、運営方法、サービスに関する 154 件の多様な意見が寄せられた。

Ⅲ まとめ

回答数 305 のうち、その属性を問う設問（丁目、性別、年齢別）では、神戸市住民基本台帳による竹の台の人口構成比と比べやや女性の回答数が多く、かつ若い年代より高齢世代の回答数の割合が大きいが、概ね合致しており、アンケートの回答結果は竹の台住民の意思を表しているものと考えられる。

設問（1）～（4）から、駅前商業施設にも関わらず、65%は週1回以下しか行かない、という結果がでた。また、毎日行くと答えた人も多くはプレんティに魅力があると考えているのではなく、44.6%の人がニーズに合っていないと答えた。設問（5）～（7）では、概ね「気軽に行ける」「ゆっくりできる」「集える」店や空間を望む回答が多く、さらに、運営への疑問やサービスへの不満を述べるものが多かった。

全体に、記述部分の書き込みがたいへん多く（設問5では220件、設問6では144件、設問7では154件）住民の関心の高さを反映していると考えられる。